

アドベンチャーガイズ 登山ツアー

2024 APR-SEP

ALPS Climbing

ヨーロッパ アルプス 名峰登頂

モンブランツアー 2024年 速報版



Adventure Guides
冒険案内人

EUROPE ALPS CLIMBING SERIES

ヨーロッパアルプス名峰登頂

モンブラン マッターホルン アイガー メンヒ ユングフラウ モンテローザ
ブライトホルン アラリンホルン

氷河を抱くヨーロッパアルプスでは、夏でも日本の冬山のような雪稜や岩稜の登攀が楽しめます。

整備された交通機関、山麓のホテル、快適な山小屋を最大限に利用すれば、スムーズなアプローチが可能です。

アルプスは、アルピニズム発祥の地。

国際山岳ガイド連盟認定のガイドが皆様を山頂に導きます。

氷河や岩稜など技術的に難しい部分を、

山岳ガイドに任せれば、名峰登頂もかなわぬ夢ではありません。

アルプスの雄大な景色の中、壮大なスケールの本格的な

山岳登攀を楽しみましょう。

出発前のサポートが 違います

AGには国際山岳ガイドの資格を持ち、実際にアルプスでのガイド経験を持つスタッフが多数在籍。経験に基づいた生きた情報で出発前の準備をお手伝いいたします。講習会やシミュレーション登山も企画しております。

日本人のための 山岳ガイドを厳選

現地山岳ガイドは日本人登山者に慣れているホスピタリティーに優れたガイドを厳選。日本人ガイドが同行しない場合も日本人アシスタントがベースタウンにてアドバイスし、コミュニケーションのお手伝いをいたします。

AGネットワークで 現地でもきめ細かくサポート

シャモニ、グリンデルワルトでは現地連絡事務所の日本人スタッフがまた、ツェルマットでは、駐在スタッフがサポートいたします。状況を見極めて臨機応変に対応し、きめ細かい手配で登山をサポートいたします。

日本人国際山岳ガイドと現地ガイドのチームでご案内します。

日本人国際山岳ガイドの良さは、日本人の登山スタイルを理解していること、日本人の体力度を知っていること、日本語でコミュニケーションが取れることなどです。

現地山岳ガイドの良さは、ルートに詳しく、自身や仲間が毎日のように登っているので、最新のルート状況を把握しクオリティーの高いガイドが出来ることなどです。

「パッケージツアー」では、基本的に現地山岳ガイドのご案内致しますが、モンブラン、マッターホルンツアーでは、最少催行人員に達している場合、各ツアーに日本人国際山岳ガイドを1名以上配置するようにして、日本人ガイドと現地ガイドでしっかりとコミュニケーションを取りながら、ツアー全般をサポートするように致します。

また、現地ガイドも、過去に日本人登山者を案内して日本人のことを知っており、ホスピタリティーに優れたガイドを厳選しています。

◆◆◆日本人国際山岳ガイド手配◆◆◆

日本人ガイドのご希望を承りますが、各ツアーに配置できる日本人ガイドの数が出発の2週間前頃まで決まらないため、ご希望を頂いても手配できない場合がございます。

この場合は、現地山岳ガイドとの登山となります。

なお、日本人ガイドが手配できない理由で、ご旅行をキャンセルされる場合でも、通常のキャンセル料が掛かりますので、予めご理解下さい。

また、日本人国際山岳ガイドを希望の場合は、別途、追加料金が発生します。詳しくは、別紙「日本人山岳ガイドのご案内」がございますので、お申込時にご請求下さい。

ご指名いただいた日本人ガイドはツアーリーダーとしての役割を兼務することがあります。

アルプス名峰登頂シリーズは、3つのプランから選べます。

A パッケージツアー

日本人国際山岳ガイド、現地アシスタントがサポートする安心のお任せプラン

旅行の手続きは全て人任せにして登山に集中したい方、一緒に登る仲間が欲しい方にお勧め！

日本人国際山岳ガイドまたは現地日本人ツアーリーダーが、ジュネーブ(チューリッヒ)空港到着から、ツアーに同行して、搭乗手続、ホテルチェックイン、足慣らしハイキングなどをご案内します。もちろんメインの登山時にもサポートします。

「モンブラン登頂・マッターホルン登頂」

各出発日に日本人国際山岳ガイドが1名以上同行。準備から登山までサポートします。

* 山岳ガイドが複数いる場合は、日本人ガイドと現地ガイドで、それぞれパーティーを組んでご案内します。この場合は日本人ガイドが現地ガイドパーティーのサポートも行います。

「その他のツアー」

日本人アシスタントが同行して、前日の現地山岳ガイドとの打合せはもちろん、出発当日の登山開始地点にも同行して準備のお手伝いを行います。また、登山中も携帯電話や山小屋の電話などを利用し、天候やルート状況、参加者の体調などに合わせて、臨機応変にガイドと打ち合わせをしながら、しっかりとサポート致します。



パッケージプランでは、東京発の夜行便を利用いたします。

夕刻から夜に掛けて空港を出発するので、仕事が終わってから出発でき、現地空港についてからも、その日のうちにシャモニ、ツェルマットなど、名峰の麓の町まで無理なく移動することができる、スケジュールが便利な航空会社を利用します。

B 個人旅行(カセットプラン)

必要最低限の手配をシンプルにまとめた経済的なプラン

海外旅行に慣れていて、搭乗手続、鉄道乗換、ハイキング等が自分でできる方にお勧め！

航空券、ホテル、登山ベースまでの移動、山岳ガイドといった登山に必要な最低限のものをセットしたシンプルなプランです。自分でできることをツアーより省くことによって、より経済的に登山を楽しむことができます。登山中はもちろん、旅行中に何かトラブルが発生した時には現地オフィスのスタッフが日本語でサポートしますので安心です。

C 個人旅行(フリープラン)

ご希望のプランに合わせて、組み立てるフリープラン

グランドジョラス、ピッツベルニナ等、パッケージプランに設定の無い山、長期間の個人旅行で複雑な登山手配を頼みたい方、マイルージ等で航空券を既に持っている方にお勧め！

旅行や登山に必要なパーツを、皆さんの希望に応じて手配します。登山手配はもちろん、航空券、ホテル、送迎車、鉄道パス等の手配を承ります。それぞれのご希望にあわせ、日程表とお見積りを作成いたします。フリープラン計画書にご希望をご記入の上、ご依頼下さい。なお、登山に関しては、「山岳ガイド・山小屋・山麓ホテル・現地サポート」をセットにして、ご手配致します。

ご旅行条件(要旨)

*ご契約の際は、必ず旅行条件書(全文)をお受け取り頂き、事前にご確認の上、お申し込み下さい。

【募集型企画旅行契約の部】

この旅行は(株)アドベンチャーガイズが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行条件は別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終案内書と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。
■旅行のお申込み及び契約成立時期: 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記の申込金を添えてお申し込み下さい。電話、郵便その他の通信手段でお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込

金の支払いをして頂きます。旅行契約は、当社が契約締結を承諾し、申込金を受領したときに成立いたします。

■申込金 旅行代金が30万円以上 5万円
■旅行代金は旅行開始日の前日から起算して21日目にあたる日より前にお支払い下さい。
■この旅行条件は2023年10月1日を基準とし、2023年10月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、または、2023年10月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。
■取消料: 旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されると

きは、下表の取消料を申し受けます。

契約解除日	取消料	
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	40日～31日目(ピーク時のみ) 30日～3日目	旅行代金の10% 旅行代金の20%
旅行開始前日～当日	旅行代金の50%	
無連絡不参加、旅行開始後の解除	旅行代金の100%	

ピーク時は12/20-1/7、4/27-5/6、及び7/20-8/31までをいいます。

【手配旅行契約の部】

モンブラン山小屋手配旅行は(株)アドベンチャーガイズが手配する旅行であり、お客様は当社と手配旅行契約を締結することになります。旅行条件は、別途お渡しする当社旅行業約款手配旅行契約の部によります。
■旅行のお申込み及び契約成立時期
モンブランツアーへの申込時点で、モンブラン山小屋手配の申

込となります。手配旅行契約は、モンブランツアーの募集型旅行契約が成立した後、当社が山小屋手配を行い手配が完了し、その旨をお客様に通知した時点で成立いたします。(メール等の通信手段の場合は当社が手配完了の旨を発信した時点で成立となります。)

■取消料: モンブラン山小屋手配完了後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下表の取消料を申し受けます。
モンブラン山小屋手配代金取消料 ¥50,000。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に際し担当者からの説明に不明な点があれば、ご遠慮なく下記に示す旅行業務取扱管理者にお尋ね下さい。
総合旅行業務取扱管理者 近藤謙司

ヨーロッパアルプス名峰登頂へのAG流ステップアップ

山を歩き始めてから、一歩ずつステップアップをし、憧れのヨーロッパアルプス名峰登頂を目指すまでのチャート表です。自分の技術度・体力度を考えて、次のステップをチェックして下さい。

雪稜中心の登山

ブライツホルンにチャレンジ

ヨーロッパアルプスの4000m峰の中で、最も登りやすい山の一つ。ロープウェイで標高3800mまで登れ、アタック時の標高差は300m。アイゼン歩行の経験があればチャレンジ可能です。



【同レベル】 アラリンホルン・ヴァイスミーツ など

メンヒ・ユングフラウにチャレンジ

メンヒはアルプス登山入門コース。雪稜中心の登山ですが、短い時間ながらナイフリッジや岩稜帯など緊張する場面もあります。ユングフラウは、岩と雪のミックスルートの登竜門です。



【同レベル】 ボルクス・カストール など

モンブランにチャレンジ

ヨーロッパアルプス最高峰。グーテ小屋までの岩稜ルートと小屋から上の雪稜ルートに別れます。標高も高く、標高差もあるので、しっかりと体力とスピードなど、総合的な技術が必要となります。



【同レベル】 モンテローザ・ドム など

岩稜中心の登山

マッターホルンにチャレンジ

岩稜中心の登山。頂上近くの雪田でアイゼン登攀も含まれます。核心部には固定ロープがあります。技術的な難易度は高くありませんが、1000m近い標高差が登れる体力とスピードが求められます。



【同レベル】 ベッターホルン・ダンデジュアン など

アイガーにチャレンジ

岩と雪のミックス登山。一方向に縦走するルートなので後戻りができません。ピッケルを駆使するナイフリッジ、連続する懸垂下降など、より総合的な技術、体力、経験が求められます。



【同レベル】 グランドジョラス・シュレックホルン など

ステップ1 「初めての山歩きから夏山登山まで」

初めて山歩きをする人が、装備の使い方、パッキング、フットワークなどの登山の基本をマスターして、足場の不安定なガレ場、ザレ場を経験。標高差800m程度の山を余裕を持って登れる体力をつけ、山に慣れながら、低山から標高2000m程度の一般ルートを、余裕をもって歩けるようになるとクリアです。



ステップ2 「日本アルプスの3000m級クラス」

よりバランスが必要で、軽く手を使う岩場、鎖場、雪渓などを通過したり、雪の降ったすぐ後の低山、残雪期のアルプスなどでアイゼン歩行を経験。標高差1000mの程度の山を余裕を持って登り、山小屋に宿泊して連日登山できる体力が必要。本格的な岩稜が含まれない北アルプスなどの3000m級の山に余裕を持って登れるとクリアです。



ステップ3 「3000m後半から4000mの高所登山」

ヨーロッパアルプスも名峰は4000mを越える山がほとんどです。高所登山特有の登り方をマスターしなければ、いくら体力があっても登ることができません。実際に富士山などに登りながら、ペース配分、休憩の取り方、水分・エネルギー補給など、高所順応の効率よい方法をマスター。特に高所での呼吸法を覚えると歴然と高所順応がしやすくなります。



ここまでステップアップしたら

ステップ4 「雪山登山」

キックステップ、アイゼン歩行、ロープワーク、雪山を快適・安全に歩くためのウエアーなどの装備の知識をマスター。雪に慣れて、アイゼンを引っ掛けないようにバランスよく歩けるようになったら、尾根筋や傾斜のある斜面などバランスが必要な場面でアイゼン歩行を経験。ガイド登山で積雪期のハケ岳・赤岳の地蔵尾根が登れるようになるとクリアです。



ステップ5 「岩登り入門」

クライミングジムやアウトドアのゲレンデなどで、三点確保の基本を理解し、しっかりとしたホールドのあるルートを登ることができるレベル。また、ロープで確保された安心感の中で、足がすくまないように高度感に慣れること。たとえば、各ゲレンデの初級ルートや、槍ヶ岳の穂先などをスムーズに登れるようになるとクリアです。



ここまでステップアップしたら

ステップ6 「剣岳、キレットなど北アルプス岩稜ルート」

北アルプスの岩稜を含む3000m級縦走登山。剣岳、西穂から奥穂のジャンダルム、キレットなど高度感のある岩場をスムーズに登攀できる。また、ヨーロッパアルプスのスケール感に対応するために、ゲレンデやクライミングジムで、簡単なルートを腕力で強引に登るのではなく、バランスよく、力を掛けずにスムーズに登ることができればクリアです。



ステップ7 「岩と雪のミックスレベル」

ステップ6をクリアした人の次のステップは、岩と雪のミックスルート。よりバランスが必要で総合的な登攀力が求められます。残雪期の剣岳や冬季ハケ岳バリエーションルートを想定。岩と雪、場合によっては氷のルートを登攀するためにピッケル、アイゼン、そして手袋を使用した登攀で、総合的な技術、体力、スピードが求められます。



■ 体力度・技術度のスケール

山の技術度体力度のスケールです。この表をご参考頂きながら、登山対象の山、ツアー等をお選びください。

技術度 AGツアー、登山教室における登山技術度の指針です。

技術度0：初めての山歩きレベル。

整備された登山道を中心に歩きます。スニーカーでも大丈夫な、どなたでも歩けるコース。

技術度1：初心者レベル

登山道上に石や岩が出てきます。軽登山靴(トレッキングシューズ)が必要なコースです。

技術度2：初級レベル

簡単な岩場、ザレ場、ガレ場が含まれたコース。バランスの必要な場面がでてくるルートです。

技術度3：中級レベル I

クサリ場、雪渓が含まれたコース。南・北アルプスの山小屋を使う3000m級の夏山登山レベル。

技術度4：中級レベル II

氷河歩行がありますが、難しい技術は必要ないので、アイゼン歩行の経験があれば対応可能。ストックでも可。

技術度5：上級レベル I

バランスが必要な場面でアイゼン・ピッケルを使用。2級程度の岩登りも含まれ、残雪期の北アルプス程度の経験が必要。

技術度6：上級レベル II

3級程度の岩登りが含まれます。セカンドでロープを利用した岩登りを経験しており、春先の剣岳や大キレットなどを安定して登山できる技術が必要。

技術度7：上級レベル III

4級程度の岩登りが含まれます。ピッケル、アイゼンでミックスルートや雪壁の登攀ができる技術が必要です。

体力度 AGツアー、登山教室における体力度の指針です。

体力度0：平坦なコースが中心です。登りや長い下りはありません。初めての山歩きの方が対象です。

体力度1：標高差400m位の登りが含まれます。1日の行動時間2～4時間が目安です。

体力度2：標高差800m位の登りが含まれます。1日の行動時間4～6時間が目安です。

体力度3：標高差1000m位の登りが含まれます。1日の行動時間6～8時間が目安です。

体力度4：標高差1000m以上の登りが含まれます。1日の行動時間が8時間以上が目安

体力度5：標高差1000m以上の登りと下りが含まれます。1日の行動時間が12時間以上が目安です。



Team Adventure Guides チームアドベンチャーガイド

近藤謙司

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
チョモランマ冬季北壁最高地点到達などの記録を持つ。チョーオユー峰では、世界最高齢の女性をガイドし山頂に導く。アルプスではマッターホルンなどの山岳ガイドとして活躍。東宝映画「植村直巳物語」で映画にも出演。



山岸慎英

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
白馬に育ち、ヨーロッパアルプス・シャモニクライミングを学んだ、新進気鋭の国際山岳ガイド。ヨーロッパアルプスはもちろん、近年はヒマラヤ、南米の高所登山も案内。バックカントリーのガイドとしても活動している。



杉坂 勉

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
四季を問わずアルパインクライミングからBCまでマルチに活動。2014年より国際山岳ガイドに認定され、ヨーロッパなど海外でのガイドも可能になりました。マンツーマンでのガイドを基本に、少人数でのきめ細かいガイディングが持ち味です。



黒田 誠

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
基本的に忠実なクライミングと、基礎をすっ飛ばして応用から入ったスキーで四季を通じてガイド活動を行っています。講習会では、理系らしい理論的な説明を心がけております。どちらかと言えば、乾いた岩登りが得意です。



今井 晋

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
北海道小樽をベースに、山でのクライミングと山の中でのスキーが得意分野。個人的には、あまり情報のないエリアやオンサイトを好み、未だに山への憧れを捨てきれず、海外遠征継続中。モットーは、「夢をもって山に登ろう！」



滝本倫生

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
山が好きで14歳でドロップアウトし登山、沢登、アルパイン&フリークライミング、スキー、スノーボードとオールラウンドに経験。現在は白馬をベースに北海道、ヨーロッパアルプス、ドロマテ、ノルウェーでスキー&クライミングガイドで活動している。



北村俊之

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
ブロードピーク三山無酸素アルパインスタイル縦走、チョー・オユー無酸素単独登山など。8000m峰を6座登山、うち5座は無酸素登山。現在は、毎年、世界の高峰をガイドしている。立山ガイド協会所属の国際山岳ガイド。



長岡健一

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
山岳救助のプロで、多くの山岳会や国立登山研修所で講師として安全管理を徹底した技術の向上を目指し活動。20代より登山を始め、谷川、穂高、劔岳等を中心に、アイス、スキー、沢登り、高所などオールラウンドに実践。



佐々木大輔

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
幼少期より山と冒険の世界に憧れを持ち、高校時代から登山とスキーの仕事始める。エクストリームスキー世界大会でも活躍。マッキンリー滑降やグリーンランド遠征等、自身の冒険活動を続けながらも、国内外でガイド活動を行っている。



林 信之

日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
白馬・岩岳・林ペンションのオーナー。白馬ローカルならではのルートに案内します。温厚でやさしいガイド振りは老若男女問わず人気抜群。北アルプス遭難対策協議会救助隊員でもあり、地元でのネットワークは万全。



プライニング

ルベルト 日本山岳ガイド協会認定国際山岳ガイド
日本人の妻を持ち、現在、富山在住。オーストリア生まれで、ドイツにて国際山岳ガイドの免許を取得。2006-2009年マムート・アルパイン・スクールとDAVサミット・クラブを中心にガイド活動を行う。2009年から日本の山でもガイド活動を行っている。



杉本水生

日本山岳ガイド協会認定山岳ガイド
BCを中心に若手ガイドのリーダー的存在。ヨーロッパアルプスに在住経験もある国際派ガイド。気さくな人柄で、楽しいツアーへの演出が得意。スキーの腕前は一級。冬はバックカントリーツアーのガイドを中心に活動中。



■ ヨーロッパアルプス名峰登頂シリーズ 登山に関するの注意事項 *お申し込み前に必ずお読み下さい。

ヨーロッパアルプス名峰登頂シリーズ

このツアーは、参加者が必ず登頂できることをお約束するものではありません。天候、ルート状況、参加者の技術・体力・体調等によって登頂できない場合もございます。予めご了承ください。

山岳ガイド

国際山岳ガイド連盟(UIAGM)公認現地山岳ガイドがご案内します。登山中は英語のご案内になりますが、パッケージプランでは事前の打合せを日本語アシスタントが同行して行いますので、登山中は片言の英語でのコミュニケーションで登山可能です。また、登山中に緊急な判断が必要になった場合、携帯電話で連絡が取れる状況であれば、現地連絡事務所スタッフが日本語でコミュニケーションをお手伝い致します。

日本人山岳ガイド

日本人ガイドの指定は、日程によっては追加代金をお支払い頂き、可能な場合もございます。スタッフにご相談下さい。また、日本人ガイドはツアーリーダーの役割を兼務することがあります。

モンブラン・ユングフラウ・モンテローザの山岳ガイド

モンブラン・ユングフラウ・モンテローザ登頂時はガイド1名に参加者2名のパーティー編成となります。同行希望者がいる場合を除き、山岳ガイドまたは日本語アシスタントが参加者の山行歴、年齢、体力度、体調などに合わせてパーティーを決定します。必ずしもご希望のパーティー編成にならない場合もあります。また、パーティーを編成した後、登山中にいずれか一方の参加者の登山技術、登高ペース等の事由により登山が無理と判断された場合、パーティーの登山活動が中止される場合もあり、必ずしもご自身の実力とおりの結果にならないこともあります。登山中止の判断は山岳ガイドが行い、いかなる場合もこの判断には従って頂きます。予めご了承ください。パーティー編成にご不安な方は、予め個人ガイド手配をお勧めします。



登山予備日の規定に関して

「モンブラン」

パッケージプランのモンブラン登山は、予備日を含め3日間の登山プランで、同じ山岳ガイドを3日間拘束しております。天候に恵まれ2日間で登山が終了した場合は、3日目に日帰りで行ける登山にご案内いたします。(ガイド拘束料金の範囲でご案内できる登山となります。ご希望の山、ルートによっては追加代金が必要な場合がございます。)1日目に天候が悪く確実に登山ができない場合は、出発を1日延期して2日目に出発します。この場合の1日目は可能であればシャモニ周辺のゲレンデなどでトレーニング等が可能です。また、1日目に山小屋へ入り2日目に天候が悪かった場合は、2日目は山小屋に停滞し、3日目に登山します。(2泊目の山小屋宿泊代は、ツアー代金に含まれませんので、現地で直接お支払い下さい。)

「マッターホルン、モンテローザ、アイガー、ユングフラウ」

パッケージプランのマッターホルン、アイガー、ユングフラウでは、登山予定日の2日間のみガイドを拘束しております。予定日に悪天候等で登山が実施できない場合は、翌日以降に登山を移行しますが、ガイドを拘束していませんので延長できないこともあります。このようなケースで翌日に移行する場合は、新規にガイドを予約する場合と違い、最優先でガイド手配を行うため、過去の事例で移行できなかったことは、ほぼございません。なお、移行した場合、事前に予定していたガイドと違うガイドになる場合もございますので予めご了承ください。また、日本人ガイド指定の場合は、別料金でモンブランのように山岳ガイドを3日間拘束することも可能です。この場合は、モンブランと同一の予備日規定となります。

予備日に登山をする場合は、当初予定していた山小屋が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

登山成立

モンブラン、アイガー、ユングフラウ、モンテローザは山麓から山岳ガイドと出発した時点、マッターホルンはヘルンリ山小屋を出発した時点で登山が成立したとみなします。また、途中で下山した場合でも登山は終了したものと見なされ、ガイド料の返金はございません。(確実に登山ができない場合は出発しません。)

現地滞在期間中に当初予定の山に登れない場合

マッターホルン、アイガーなど岩稜ルートが中心の登山で、ルート上に積雪が多く、数日待っても登れないことが確実な場合は、代替登山にご案内します。可能な限り同じグレードの山にご案内しますが、必ずしもご希望の山にならない場合もございます。また、代替登山に変更になった場合で、ガイド料に差額が生じる時は、帰国後にガイド料を精算させて頂きます。代替登山を含め、ご希望の山に登れないために参加者の意思で登山に参加されない場合は、代替登山が実施できる状況であれば、ガイド料等の返金はございませんので、予めご了承下さい。



全く登山活動ができなかった場合

天候やルートの状況が悪く、代替登山も含め全く登山活動ができなかった場合は、登山ガイドの拘束料を差し引いた山岳ガイド費用を帰国後にご返金させて頂きます。

登山中止の判断

ヨーロッパアルプス名峰登頂シリーズでは、必ず参加者が山頂まで到達できることをお約束するものではありません。以下の事由によって登山が途中で中止される場合がございます。

- * 悪天候で安全に登山が出来ない場合。
- * 積雪等ルートの状況が悪く安全に登山が出来ない場合。
- * 交通機関、山小屋などの宿泊施設利用に支障がある場合。
- * 参加者の体調が不十分で登山が進行できる状態にない場合。
- * 登高ペースが遅く安全に登頂するために時間的余裕が無い場合。
- * 参加者の登山技術が、安全に登山するには不十分な場合。
- * お客様の装備に支障があった場合。(最終案内書の装備表をご参考下さい。また普段使い慣れたもので、目的の登山に適した装備をご用意下さい。一部の装備は現地にてレンタルも可能です。)

いかなる理由においても登山中止の判断は山岳ガイド、または弊社スタッフが決定し、この決定には必ず従って頂きます。また、同じツアー内でもパーティによって行動内容、結果が違ってることがございます。予めご了承の上、お申し込み下さい。また、登山が途中で中止になった場合でも旅行代金の変更、返金はございません。なお、登山中止のケースで、登山が初めから全く実施されなかった場合に限り、ガイド代金(交通費、山小屋宿泊代金、ガイド料)を規定のガイド拘束費、手数料を差し引いてツアー終了後、日本国内にてご返金させて頂きます。



緊急時の対策

緊急時には、山岳ガイド、レスキュー隊、ガイド組合、山小屋等と弊社現地オフィススタッフがサポート致します。また、速やかな対応でヘリコプターを出動させる態勢も確立されております。

海外旅行傷害保険

アルプス登頂ツアー参加のお客様には、山岳登攀割増の付いた海外旅行傷害保険にご加入頂くことを参加の条件とさせて頂きます。また、ご自身で同種の保険にご加入されている場合も参加可能です。

東京以外の出発地

このパンフレットに記載されているツアーは東京発着です。大阪、名古屋、福岡、札幌など地方発着がご希望の場合は、お申し出ください。(申込用紙の備考欄にご希望をご記入ください。)お申し出がない場合は東京発着のご参加となりますので、予めご了承ください。地方発着がご希望の場合、東京発のツアーに合わせる形で地方発の国際線、または、東京までの国内線の手配を行います。国内線は利用する航空会社によっては国際線航空券に追加する形で割引運賃が適用になります。なお、地方発着のご希望をお申し出頂いた場合でも、利用航空会社の決定後の手配開始になりますので、ご希望の便が手配できない場合もございますので、予めご了承ください。

*利用予定の航空会社は出発の2~3週間前頃となります。

ビジネスクラス・ファーストクラスの手配

追加料金でビジネスクラスのご利用が可能です。お申込の際にお問い合わせ下さい。なお、お申込頂いてからの手配になり、お席を確保できない場合は、エコノミークラスでの出発となります。

ツアーの延長に関して

パッケージプランでは、ツアーの延長が可能です。ツアー終了後、現地滞在を延長したり、延長時に別の登山をすることができます。また、ツアー出発日より事前に現地に入ることも可能です。ご希望にあわせて追加手配をさせていただきます。なお、出発日、帰国日によっては、航空運賃に差額が生じる場合がございますので、予めご了承ください。

帰国便延長可能な航空便の手配

予備日を含めた登山予定日に登山ができず、再度アタックのチャンスが作れるように、追加料金で帰国便の変更可能な航空便を手配することも可能です。この場合、グループと異なる航空会社になる場合もございます。なお、現地で滞在を延ばす場合は、その時点での手配開始となり、同じホテルの延長、山岳ガイド手配、航空便をご希望日に手配できない場合もございます。予めご了承ください。

一人部屋・相部屋について

ホテルの宿泊は2名1部屋が原則です。1名や奇数名でご参加の場合は一人部屋が男女別相部屋の利用になります。一人部屋利用の場合は別途、一人部屋追加料金が必要です。相部屋の場合は追加料金は必要ありません。また、相部屋希望の場合、3人部屋になる場合がございますが旅行代金等の返金はございませんので、予めご了承ください。また、山小屋は男女一緒の相部屋になります。

シャワーのみの部屋(バスタブのない部屋)

欧米の旅行者は日本人に比べバスタブに浸かる習慣が少ないため、ヨーロッパのホテルでは、バスタブ付きの部屋が少なくなっております。また、夏のヨーロッパアルプスは繁忙期のためホテルが非常に混み合います。このため、ツアーではシャワーのみの部屋になる場合がございますので、予めご了承ください。

登山をしない同行者に関して

登山しない同行者も手配可能です。登山前のハイキングは同行して、登山時は山麓のホテルや山小屋で登山者を待つ形でアレンジできます。

利用予定航空会社

エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアライン、シンガポール航空、タイ航空、マレーシア航空、キャセイパシフィック航空、大韓航空、全日空、日本航空、フィンエア、エールフランス、ルフトハンザ航空、エールフランス、プリティッシュエアライン、KLMオランダ航空、チャイナエアラインズ

利用予定ホテル (同等クラス)

【シャモニ】 グスタビア、アルピナ、プリオレ、バレーブランシュ、グルメイタリ、クロアブランシュ、エグロン、ポアントイザベル、モルガン、メルキュール、パーク、シャレー・ボア、プランB、リシュモン
 【グリーンデルワルト】 アルピナ、アルペンブリック、ベルナーホフ、ダービー、パーク、アルテポスト、フィッシャーブリック、グリーンデルワルトブリック、セントラルポルター、アルペンホフ、ヒルシェン、シュタインボック、レジデンス、ユングフラウロッジ、ベルエアエデン
 【ツェルマツト】 アルペンリゾート、アルカ、シティ、ダービー、マッターホルンブリック、クリスチャニア、ゴルナーグラートドルフ、ドームアルプフーベル、ユーレン、プリマベラ、ホリディ、エリートアルテミス、カリーナ、アラリン

■ お問合せから出発まで

1. 資料請求

パンフレットをご請求下さい。

ご質問がございましたら、お気軽にご連絡下さい。体力度、技術度装備、事前準備など、ご不安な点はなんでもご相談下さい。

2. 申込手続

電話、メール等でお申込下さい。手続書類をお送り致します。申込書、必要書類、申込金のご送付、お振込みをお願い致します。

4. 渡航手続

パスポートの有効期限の確認、ビザの取得、予防接種など。

5. 装備チェック

装備に関して、ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。購入のお手伝いも致します。

5. 登山講習会のご案内

技術的、体力的に現地での登山にご不安がある場合は、国内での事前講習会をご案内しております。

6. 旅行代金のお支払い

旅行代金、燃油付加運賃などの諸費用、海外旅行傷害保険料などを合算した金額から、お申込金を差し引いたご請求書をお送り致します。期限までにお振込み下さい。

7. 出発準備

最終案内書(集合案内、日程表、連絡リスト、装備リスト、資料)をお送りします。体調を整えて頂くと共に、必要装備をご準備下さい。

8. 出発

最終案内書でご案内した時間、場所にお集合下さい。パスポートを忘れずにお持ちください。

ツアー中は、ツアーリーダー、現地スタッフが、皆様に目的を達成頂けるよう、精一杯サポートさせていただきます。

空港税・航空保険料・燃油付加運賃について

このパンフレットに提示されている旅行代金には、航空会社より請求される、空港税、航空保険料、燃油付加運賃(燃油サーチャージ)が含まれておりません。また、各コースに明示しております燃油付加運賃は、パンフレット作成時点での目安です。これらの諸費用は、航空券を発券する際に、その時点の為替レート、燃料費用に合せ計算されたものが、航空会社より請求されます。弊社では、出発1ヶ月前を目処にお送りする、残金のご請求書で、上記諸費用をご請求させていただきますので、予めご了承ください。

ヨーロッパアルプス概念図



■参考装備表

主なものを記載しております。正式には最終案内書の装備表をご確認下さい。

雪稜タイプ：モンブラン、ユングフラウ、メンヒ、モンテローザ

岩稜タイプ：マッターホルン、アイガー

NO	品名	数量	雪稜	岩稜	備考
1	登山靴 雪稜タイプ	1足	○	△	保温力を重視した登山靴。2重靴が保温力が高く良いでしょう。アイゼンが装着可能なものが必要です。
2	登山靴 岩稜タイプ	1足	△	○	岩登りのしやすい登山靴。普段履き慣れた保温力のある軽量の物。アイゼンが装着可能なものが必要です。
3	大型バック	1個	○	○	スーツケース等。日本出発時の個装梱包用（登山中はホテル等に預けることができます。）
4	ザック（30～40ℓ）	1個	○	○	アタック時に使用するもの。アタック時の全ての装備、防寒着が入る大きさが重要です。
5	アイゼン（10～12本爪）	1組	○	○	靴底全体をカバーする前爪のあるプレスアイゼンが望ましい。縦走用等の用途の広いもので、アンチスノー付。軽量のフンタッチ式アイゼン、又はセミフンタッチ式が便利です。アルミアイゼンも使用も可能です。
6	ヘルメット	1個	○	○	山岳登攀用の軽量ヘルメット。暖かい帽子の上からでも被る事ができる物がよい。
7	ピッケル	1本	○	○	55～65cm前後の軽量のもの。縦走用のシンプルなものが良いです。
8	ストック（2本組）	1本	○	△	アプローチの際に便利です。雪質のよい場合の雪稜歩行時利用する。高所でのバランス保持にも有効です。
9	安全ベルト、ハーネス	1本	○	○	腰部を覆うレッグループ式が望ましい。防寒ウェアの上から装着できる余裕のあるもの。レッグループが調節できるもの。
10	カラビナ	適数	△	△	持参のハーネスによっては安全環付きカラビナが必要になります。
11	スリング	適数	△	○	レスト時など、セルフビレイを取る時に利用します。
12	アウターシェル（一番外側のウェア）	1組	○	○	オーバージャケット、オーバーパンツ。防水性・透湿性が良く、ムシないもの。急な降雨には雨具として、高所では防寒着、または防風着として使用出来るものが便利です。
13	ミッドレイヤー（中間着）	1組	○	○	行動用の薄手のフリースやシャツ等から、防寒用の厚手のフリースや薄手の羽毛服等の組み合わせ。ウール・化学繊維系のスポンやタイツ等の組み合わせ。軽く、暖かく、温度調整のしやすいもの。綿製品は不可。
14	ファーストレイヤー（下着）	1組	○	○	ポリエステル系素材によるロングスリーブ、ロングタイツが望ましい。汗などの水分の速乾性と動きやすさの両立したもの。綿製品は不可。ショーツ等もこれに準ずる。
15	靴下	2足	○	○	パイル状のものが、保温性、クッション製に優れている。素材はファーストレイヤーに準ずる（予備も必要）
16	厚手・薄手の手袋	1組	○	○	薄手のものは、天候の良い時の手の保護に。厚手のものは気温-20℃まで耐えられるもの。岩稜は皮のものが便利。
17	オーバー手袋	1枚	○	△	厚手の手袋の上に行けるもの。
18	サングラス・ゴーグル	1個	○	○	雪上は非常に反射が強いので目の保護のためにサングラスが必要。また、ゴーグルは吹雪の時に必ず必要です。
19	帽子	適数	○	○	登山時に使用するもので保温性の高いもの。耳を覆えるタイプのもの。
20	ヘッドランプ	1個	○	○	予備電池も忘れずにご用意ください。
21	水筒・テルモス	1個	○	○	1ℓ程度の携帯性の高いもの。ハイドレーションはお勧め。テルモスは、移動中や夜間に温かい飲物が飲めると便利。

モンブラン (4,810m) ヨーロッパアルプス最高峰

ヨーロッパアルプス最高峰モンブランは、「アルプスの女王」と呼ばれ、氷河を抱く姿があまりにも雄大で印象的です。1786年にバルマとパッカールが初登頂したことにより、それまで悪魔が住むと考えられていたアルプスの山々に、アルピニズムの考え方が発祥し、それ以来多くの登山者がアルプスを訪れるようになりました。

グーテ小屋までの簡単な岩稜部分と上部の広大な氷河の雪稜登攀が楽しみ、技術的にもあまり難しくなく、アルプス有数の人気の山です。



「ルート案内 (グーテルート)」 * 登山開始地点: シャモニ

AGのモンブラン登山ではグーテルートを採用します。このルートは3つのセクションに分かれます。ファーストセクションの、登山鉄道駅のニーデーグルからテートルース小屋まではハイキングルート。セカンドセクションのテートルースからグーテ小屋までは、2級程度の岩稜ルート。

技術的には難しくはありませんが約800mの標高差と高度感があるので慣れている必要があります。最後のセクションは、グーテ小屋から山頂までの広大な雪の斜面の登攀。なお、頂上付近は雪稜のリッジになっていて行き違いに時間が掛かる場合があります。

「技術度・体力度」 技術度5 体力度5

斜度が緩い雪稜をアイゼンを使いながら長時間歩ける技術が必要。また、2級レベルの岩稜がでてくるので、岩登りの経験と高度感に慣れていること。また、体力的には、夏の富士山を5合目から5時間程度で余裕を持って登れる体力が必要です。

「標高差/歩行時間」

バレブランシュ氷河

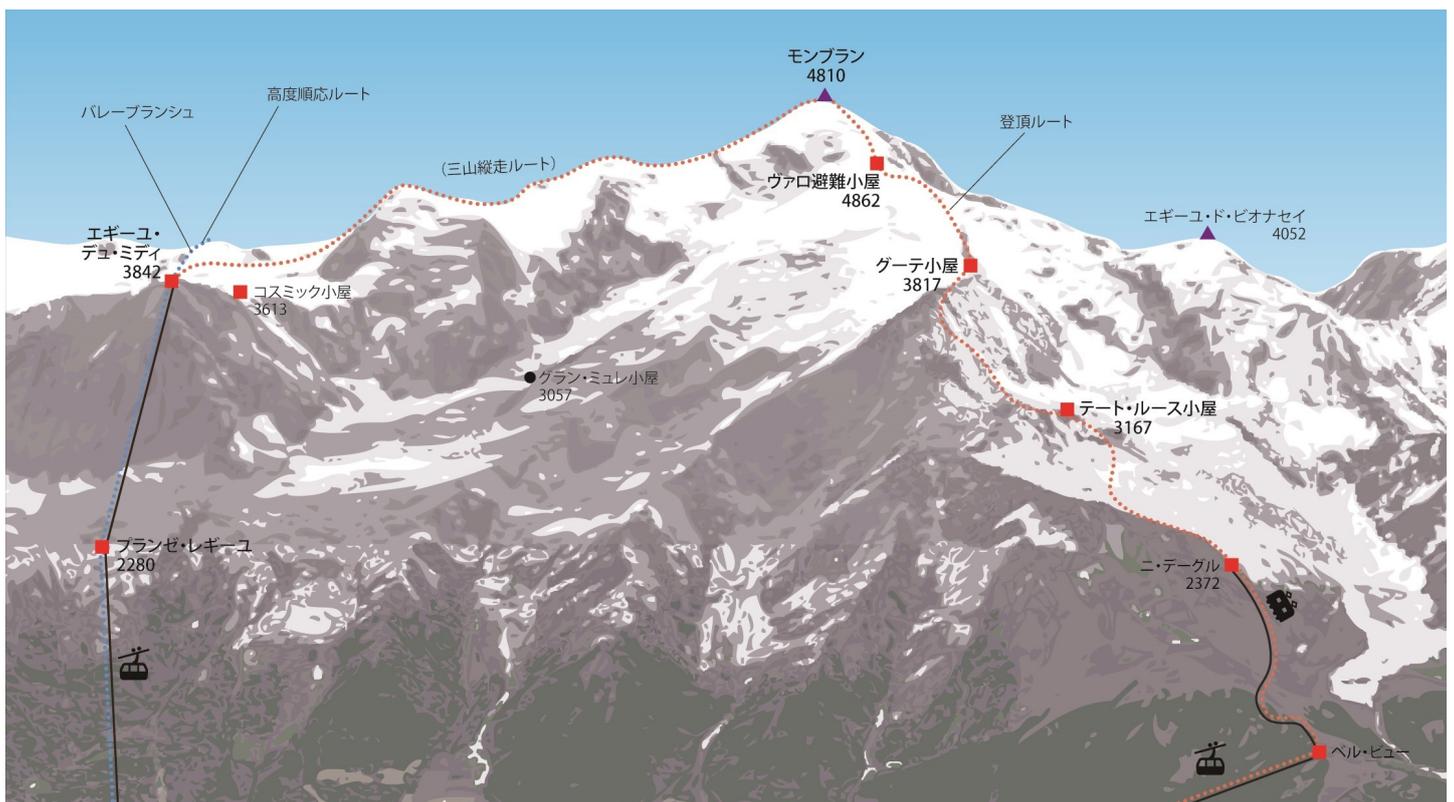
ガイド比率 1対5

エルブロンネル/トリノ小屋周辺 登り/下り400m 4時間

モンブラン

ガイド比率 1対2

ニーデーグル ⇒ テートルース小屋	登り	800m	2時間
テートルース小屋 ⇒ グーテ小屋	登り	650m	3時間
グーテ小屋 ⇒ ヴァロ避難小屋	登り	600m	4時間
ヴァロ小屋 ⇒ モンブラン山頂	登り	450m	2時間
モンブラン山頂 ⇒ グーテ小屋	下り	1050m	3時間
グーテ小屋 ⇒ テートルース小屋	下り	650m	1時間半
テートルース小屋 ⇒ ニーデーグル	下り	800m	1時間半



AGのモンブランはここが違います！！

ポイント1 日本山岳ガイド協会認定の「日本人国際山岳ガイド」が同行します。

各出発日に日本人国際山岳ガイドが1名以上同行します。空港到着から、体調を整えるハイキング、高所順応の氷河トレッキング、モンブラン登山、そして帰国時の空港までトータルにサポートします。(最少催行人員に達した場合)

モンブラン登山は、ガイド1名に対し参加者2名までガイドできます。このため、ツアー参加者がいくつかのパーティーに分かれ、日本人ガイドと現地ガイドが、それぞれのパーティーをガイドします。

＝例＝ ツアー参加者5名で日本人ガイドが1名の場合：以下の3パーティーに分かれ登山します。

①日本人ガイド:参加者2名 ②現地ガイド:参加者2名 ③現地ガイド:参加者1名

- *パーティー編成は、山岳ガイドと現地事務所が決定します。参加者がガイドを選ぶことはできません。
- *日本出発前に日本人ガイド指名料をお支払い頂き、日本人ガイドを希望することができます。(先着順)
(日本人ガイドの人数によって、手配できない場合もございます。この場合は指名料を返金させていただきます。)

なお、現地ガイドのパーティーになった場合でも、山小屋滞在時などは、日本人ガイドが現地ガイドとのコミュニケーションもサポートします。また、アタック中は、可能な限り各パーティーが同一行動をとるようにして、登山中もサポートできるように努力します。参加者の技術、体力、ルート状況などで、パーティーが離れてしまっても、携帯電話などを使って可能な限りサポートします。

*天候、ルート、現地状況などの予期せぬ事由で、日本人国際山岳ガイドが同行できない場合は、日本人アシスタントがベースタウンにてアシスタントし、現地ガイドとのコミュニケーションのサポートをします。この場合でも、旅行代金等の変更はありませんので、予めご了承ください。

日本人山岳ガイドとのパーティーを指定する場合は、別途、日本人山岳ガイド指名料が必要になります。詳しくは、お問い合わせ下さい。

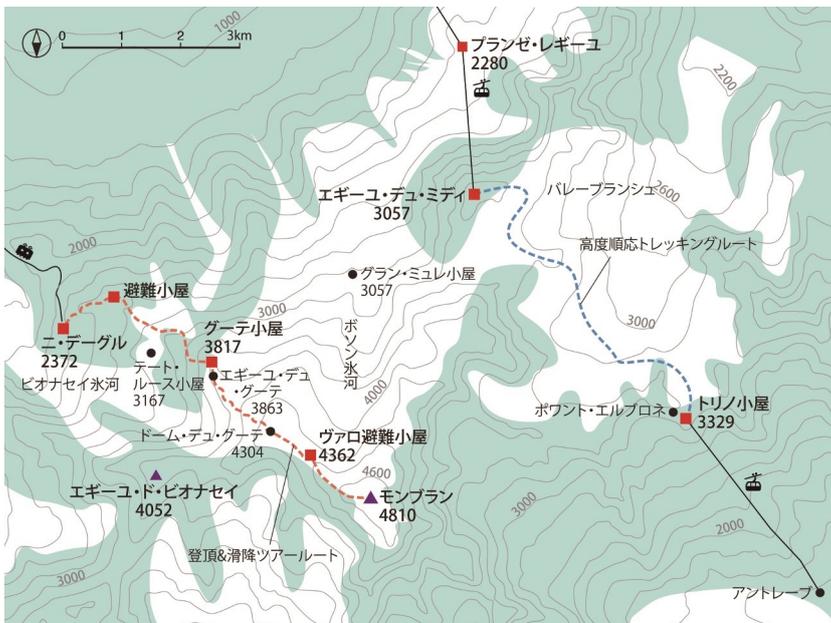
ポイント2 「テートルース小屋」と「グーテ小屋」の山小屋に2連泊します。

通常のモンブラン登山は、グーテ小屋に宿泊する1泊2日の行程です。AGではグーテ小屋に宿泊する前日にテートルース小屋に宿泊して、グーテ小屋と併せて2泊3日の行程で登るプランにしました。

☆「テートルース小屋」と「グーテ小屋」の山小屋に2連泊することで、3つのパターンで登頂チャンスが広がります。

- パターン1 ①:シャモニー→テートルース ②:テートルース→グーテ→山頂→グーテ ③:グーテ→テートルース→シャモニー
パターン2 ①:シャモニー→テートルース ②:テートルース→グーテ ③:グーテ→山頂→グーテ→テートルース→シャモニー
パターン3 ①:シャモニー→テートルース ②:テートルース ③:テートルース→グーテ→山頂→グーテ→テートルース→シャモニー

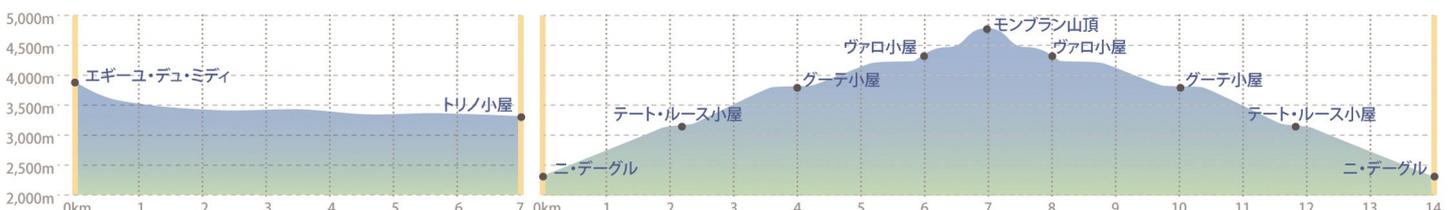
☆近年、地球温暖化の影響で、モンブランの難所、大クールワールの落石が多くなっています。テートルースに泊まることによって、早朝の落石が少ない時間帯に大クールワールを通過できるメリットがでてきます。



⚠️ ご注意ください

2024年のモンブラン山小屋手配旅行代金「¥50,000.」は、正式に予約受付が完了した後は、返金されません。

モンブランでは山小屋を予約する際にパスポート情報の登録が必要となり、予約金の支払後の変更等はできません。また、山小屋のキャンセルの際に予約金の返金がないために、モンブラン山小屋手配の手配旅行代金¥50,000は、正式に予約受付が完了して後は返金がないので、予めご理解の上、お申込み下さい。



△ご注意ください モンブラン登頂ツアーはお急ぎお申し込みください!!

モンブランでは、混雑による危険に対処するため、フランス当局が山小屋の宿泊予約をしない形での登山を禁止することになりました。また、以前は、一般のお客様の山小屋予約受付開始日前に、旅行会社用の特別予約受付期間が設けられておりましたが、現在は撤廃されており、2024年度用の山小屋の予約受付開始後に、先着順での受付となります。このため、アドベンチャーガイズのモンブラン登頂ツアーでは、お申込を頂いてからの山小屋手配開始となり、山小屋が確保できて正式受付となりますので、予めご了承下さい。

* 2024年度用の山小屋の受付開始時期は2023年10月時点で発表になっておりません。予告なく突然に受付開始になる場合がございます。

モンブラン登頂 10日間

【旅行期間】

- 6月28日(金)～7月07日(日)
- 7月05日(金)～7月14日(日)
- 7月12日(金)～7月21日(日)
- 7月19日(金)～7月28日(日)
- 7月26日(金)～8月04日(日)
- 8月02日(金)～8月11日(日)
- 8月09日(金)～8月18日(日)
- 8月16日(金)～8月25日(日)
- 8月23日(金)～9月01日(日)

【旅行代金】

- ¥829,000.
- ¥841,000.
- ¥854,000.
- ¥891,000.
- ¥891,000.
- ¥916,000.
- ¥954,000.
- ¥866,000.
- ¥841,000.

- 出発地: 東京発
 - 食事: 朝-7 昼-0 タ-2
 - 一人部屋追加代金: ¥84,000.
 - 最少催行人員: 4人
 - 添乗員なし: 現地係員がご案内します
 - 個人ガイド追加代金: ¥150,000.
- * 燃油サーチャージの目安 ¥80,000 (2023年10月現在)
- * 旅行代金には、モンブラン山小屋手配旅行代金 ¥50,000. を含みます。
- * モンブラン山小屋手配旅行部分(¥50,000.)は、正式受付後のお客様のご都合による取消には返金がございません。
- * テートルース及びグーテ小屋の宿泊が他の山小屋に変更になる場合や山小屋泊が1泊のみになる場合がございます。また予約時期によって同じツアーの参加者でも、違う山小屋を使う場合がございます。予めご理解ください。

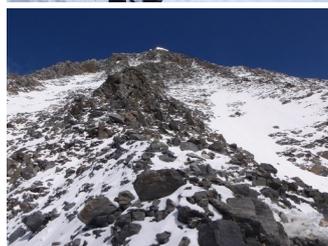
NO	都市名	時間	交通機関	摘要	食事
1	東京	夜	航空機	空路、ジュネーブへ。 【機中泊】	機食
2	ジュネーブ シャモニ	午後 夕刻	航空機 送迎車	到着後、送迎車で国境を越えモンブラン山麓の町、シャモニへ向かいます。 【シャモニ泊】	機食 機食
3	シャモニ	滞在		体調を整えるために、シャモニ周辺のハイキングコースへ。(ロープウェイ、ゴンドラ等の切符代は自己負担です。) 【シャモニ泊】	朝食
4	シャモニ	滞在		エルブロンネル周辺での氷河トレッキングで足慣らしと高度順化を図ります。(ロープウェイ、ゴンドラ等の切符代は自己負担です) 夕刻に翌日からの登山の打合せです。 【シャモニ泊】	朝食
5	シャモニ エュー・チュ・ディ山頂駅 パレーブランシュ シャモニ レ・ズーシュ ニーデーグル テートルース小屋	朝 午後 夕刻	0-アウェイ 登山 0-アウェイ 路線バス 0-アウェイ 登山電車 登山	パレーブランシュやエルブロンネルでの氷河トレッキングで足慣らしと高度順化を図ります。その後、シャモニへ戻り、モンブラン登山の準備をして出発。バスでレ・ズーシュを経由して登山鉄道でニーデーグルへ。登山を開始してテートルース小屋に入ります。 【テートルース小屋泊/3,165m】	朝食 朝食 夕食
6	テートルース小屋 グーテ小屋 ドーム・ドゥ・グーテ ヴァロ小屋 モンブラン山頂 ドーム・ドゥ・グーテ グーテ小屋	早朝 登山 夕刻	登山	大クローワールのトラバースから岩稜を登り、頭上に見えるグーテ小屋へ。ここから広大な雪稜を登り、ドーム・ドゥ・グーテ(4,304m)を越えヴァロ小屋を過ぎ、ポス山稜を辿り、ナイフリッジを過ぎるとアルプスの最高峰モンブラン(4,810m)山頂です。下山は同ルートでグーテ小屋まで下ります。【グーテ小屋泊/3,815m】	朝食 夕食
7	グーテ小屋 ニーデーグル シャモニ	朝 午後	登山 登山鉄道 バス	下山は同ルートでグーテ小屋まで下ります。その後、シャモニへ戻ります。 【シャモニ泊】	朝食
8	シャモニ	滞在		終日自由行動。 【シャモニ泊】	朝食
9	シャモニ ジュネーブ	朝 午後	送迎車 航空機	送迎車にてジュネーブ空港へ。空路、帰国の途につきます。 【機中泊】	朝食 機食
10	東京	夜	航空機	到着後、解散です。	機食



パレーブランシュ氷河トレッキング。高所順応を兼ねて、雄大な氷河歩きを楽しみます。



テートルース小屋をスタートして、大トラバースへ。落下物が多いので、スムーズに、そしてスピーディーに通過します。



グーテ小屋までの登り。2級程度の岩登りです。ホールドはしっかりとしているので技術的には難しくありませんが、高度感があります。



ヴァロ小屋より山頂を望みます。ここから、ポス山稜を登ります。大ポス、小ポスを越えるといよいよ山頂へ。



モンブラン山頂。ヨーロッパアルプスの360°のパノラマが広がります。遠くマッターホルンを望むこともできます。

※ジュネーブが、チューリッヒ、ミラノ等の他の空港に変更になる場合がございます。

モンブランとマッターホルン登頂

モンブランとマッターホルンの2山にチャレンジします。まずは技術的に登りやすい雪稜中心のモンブランから。モンブランは標高が高いために、マッターホルンの高所順応としても最適です。ツェルマットに移動してからマッターホルンにチャレンジ。雪稜、岩稜とタイプの違ったアルプスの代名詞の2山で登攀を満喫して下さい。

△ご注意ください **モンブラン登頂を含むツアーはお急ぎお申し込みください!!**

*モンブランの山小屋手配が難しくなっております。P10のモンブランツアーの欄をご参照ください。

A パッケージプラン

モンブランツアー参加+ツェルマットで現地日本語係員がサポート

モンブランとマッターホルン登頂 14日間

【旅行期間】

6月28日(金)～7月11日(木)
7月05日(金)～7月18日(木)
7月12日(金)～7月25日(木)
7月19日(金)～8月01日(木)
7月26日(金)～8月08日(木)
8月02日(金)～8月15日(木)
8月09日(金)～8月22日(木)
8月16日(金)～8月29日(木)

【旅行代金】

¥1,474,000.
¥1,487,000.
¥1,498,000.
¥1,535,000.
¥1,535,000.
¥1,560,000.
¥1,597,000.
¥1,510,000.

- 出発地:東京発
- 最少催行人員:4人
- 食事:朝-12 昼-0 タ-3
- 添乗員なし:現地係員がご案内します
- 一人部屋追加代金 : ¥144,000.
- モンブラン個人ガイド追加代金 : ¥150,000.
- マッターホルン登山予備日ガイド拘束追加代金 : ¥95,000.
- * 燃油サーチャージの目安 ¥80,000 (2023年10月現在)
- * 旅行代金には、モンブラン山小屋手配旅行代金¥50,000. を含みます。
- * モンブラン山小屋手配旅行部分(¥50,000.)は、正式受付後のおお客様のご都合による取消には返金がありません。
- * テートルース及びグーテ小屋の宿泊が他の山小屋に変更になる場合や山小屋泊が1泊のみになる場合がございます。また予約時期によって同じツアーの参加者でも、違う山小屋を使う場合がございます。予めご理解下さい。



上部雪田を通過



マッターホルン山頂の十字架

NO	都市名	時間	交通機関	摘要	食事
1	東京	夜	航空機	空路、ジュネーブへ。	【機中泊】 機食
2	ジュネーブ シャモニ	午後 夕刻	航空機 送迎車	到着後、送迎車で国境を越えモンブラン山麓の町、シャモニへ向かいます。	【シャモニ泊】 機食 機食
3	シャモニ	滞在		体調を整えるために、シャモニ周辺のハイキングコースへ。(ロープウェイ、ゴンドラ等の切符代は自己負担です。)	【シャモニ泊】 朝食
4	シャモニ	滞在		エルブロンネル周辺での氷河トレッキングで足慣らしと高度順化を図ります。(ロープウェイ、ゴンドラ等の切符代は自己負担です。)夕刻に翌日からの登山の打合せです。	【シャモニ泊】 朝食
5	シャモニ エフ・フィ・ミヤ山頂駅 パレーブランシュ シャモニ レ・ズーニュ ニーデール テートルース小屋	朝 午後 夕刻	ロープウェイ 登山 パレー 路線バス ロープウェイ 登山電車 登山	その後、シャモニへ戻り、モンブラン登山の準備をして出発。バスでレ・ズーニュを経由して登山鉄道でニーデールへ。登山を開始しテートルース小屋に入ります。	【テートルース小屋泊/3,165m】 朝食 夕食
6	テートルース小屋 グーテ小屋 ドム・ドゥ・グーテ ヴァロ小屋 モンブラン山頂 ドム・ドゥ・グーテ グーテ小屋	早朝 登山 夕刻		大クローワールのトラバースから岩稜を登り、頭上に見えるグーテ小屋へ。ここから広大な雪稜を登り、ドム・ドゥ・グーテ(4,304m)を越えヴァロ小屋を過ぎ、ボス山稜を辿り、ナイフリッジを過ぎるとアルプスの最高峰モンブラン(4,810m)山頂です。下山は同ルートでグーテ小屋まで下ります。	【グーテ小屋泊/3,815m】 朝食 夕食
7	グーテ小屋 ニーデール シャモニ	朝 午後	登山 登山鉄道 バス	下山は同ルートを辿りニーデールまで下ります。その後、シャモニへ戻ります。	【シャモニ泊】 朝食
8	シャモニ ツェルマット	午前 午後	鉄道	鉄道を乗り継ぎマッターホルン山麓の町、ツェルマットへ向かいます。	【ツェルマット泊】 朝食
9	ツェルマット クライマッター-ネルト ブライトホルン クライマッター-ネルト ツェルマット	朝 午後	ゴンドラ 登山 ゴンドラ	ゴンドラ、ロープウェイを乗り継ぎクライマッターホルンまで上がった後、登山を開始します。高度順応、技術チェックのため、ブライトホルンをトラバースルートより登ります。	【ツェルマット泊】 朝食
10	ツェルマット シュバルツゼー ヘルンリ小屋	午前 午後	ゴンドラ トロッグ	ゴンドラでシュバルツゼーへ。ここよりヘルンリ小屋までトレッキングします。	【ヘルンリ小屋泊】 朝食 夕食
11	ヘルンリ小屋 マッターホルン ヘルンリ小屋 シュバルツゼー ツェルマット	早朝 午後	登山 トロッグ ゴンドラ	早朝に山小屋を出発し、標高差1,200mを登り、マッターホルン頂上(4,478m)を目指します。ヘルンリ小屋経由でツェルマットへ戻ります。	【ツェルマット泊】 朝食
12	ツェルマット	滞在		登山予備日。	【ツェルマット泊】 朝食
13	ツェルマット ジュネーブ	朝 午後	鉄道 航空機	鉄道を乗り継ぎジュネーブ空港へ。空路、帰国の途につきます。	【機中泊】 朝食 機食
14	東京	夜	航空機	到着後、解散です。	機食

※ジュネーブが、チューリッヒ、ミラノ等の他の空港に変更になる場合がございます。

お問合せ・お申込みは...

株式会社 アドベンチャーガイドズ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-9-6 東西館ビル本館43号室

営業時間 月一金/11:00-17:00 土・日・祝/休み

総合旅行業取扱管理者 近藤謙司

観光庁長官登録旅行業第1713号

(一社)日本旅行業協会(JATA)正会員



TEL : 03-5215-2155

FAX : 03-3288-3211

http://www.adventure-guides.co.jp

e-mail info@adventure-guides.co.jp